

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本語特論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0161			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	【教科書】講師作成のハンドアウト／【関連図書】『留学生のための時代を読み解く上級日本語』スリーエーネットワーク 『大学・大学院 留学生の日本語③』アルク 『国境を越えて』新曜社 等 新聞記						
担当教員	田上 栄子						
到達目標							
・現代の日本・日本人に関して、興味をもって情報を取ろうとする姿勢を持つ ・内容に応じて、適切な語彙や表現が使えるようになる ・文章や映像の論理構成を読み解くことができる ・根拠のある意見を述べることができる ・論理的に構成し、説得力のある発表ができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	社会的な話題など、何らかの情報を発信する際、適切な範囲の語彙や表現が、必要な時に適切に使える			社会的な話題など、何らかの情報を発信する際、限られた範囲の語彙や表現が使える		社会的な話題など、何らかの情報を発信する際、必要な範囲の語彙や表現がほとんど使えない	
評価項目2	論理的な構成で、説得力のあるわかりやすい発表ができる。			不十分ではあるが構成が考えられており、発表内容がだいたいわかる。		論理的構成をすることが難しく、内容がわかりにくい	
評価項目3	聞き手の役割をしっかりと理解し、積極的にコミュニケーションに参加できる。			聞き手の役割をある程度理解し、自信のなさを残しつつも、コミュニケーションができる		聞き手の役割が理解できておらず、自分が一方的に話すのみである。	
評価項目4	情報発信のために、たいへん明確に構成された視覚資料が作成できる			情報発信のために作成された視覚資料において、わかりにくい内容が部分的にあっても、全体の理解を妨げるものではない。		視覚資料が、発表内容と合わない、論理的構成が見られないなど、内容理解の妨げになる	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	学習目標（授業のねらい） ・社会的な話題について適切な語彙・表現を獲得して、使えるようになる ・聞き手の反応にも意識を向け、参加者間の相互作用に参加することができる ・日本語で述べたいことをまとめた談話として構成して、説得的に伝えることができる ・情報発信のために、構成の明確な視覚資料の作成ができる						
授業の進め方・方法	講義（20 %）B（100 %）、授業手法1 演習（80 %） B（50 %） C（50 %）、授業手法3・4・6						
注意点	授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	きっかけを語ろう		経緯をわかりやすく説明する 間接的な質問の意味を理解する 物事の決め方について理解する		
		2週	比べて良さを伝えよう		比較しながら説明する 場面に適した説明表現を使いこなす 相手の気持ちを引き付ける工夫をする		
		3週	動きの順序を説明しよう		動作の流れを説明する 順序を示すことばを使いこなす		
		4週	ストーリーを話そう		展開がわかるようにストーリーを話す 接続の表現を効果的に使う		
		5週	ストーリーを話そう		展開がわかるようにストーリーを話す 接続の表現を効果的に使う		
		6週	最近の出来事を話そう		できごとをわかりやすく説明する 引用を効果的に使う 感情を生き生きと伝えて共感を得る		
		7週	健康について話そう		因果関係を説明する 社会的な話題を論理的に話す		
		8週	将来の夢を語ろう		理由や背景とともに説明する 抽象的な表現を使いこなす 互いの価値観の違いを知り、認め合う		
	4thQ	9週	チームで協力		自分の役割を明確に持って、議論に参加できるようになる 理解したことを他の人にわかりやすく説明できるようになる		
		10週	チームで協力		自分の役割を明確に持って、議論に参加できるようになる 理解したことを他の人にわかりやすく説明できるようになる		
		11週	上手な意見の伝え方		多様な価値観を受け入れたうえで自己を主張する 要点をつかみ、聞き手に届ける		
		12週	上手な意見の伝え方		多様な価値観を受け入れたうえで自己を主張する 要点をつかみ、聞き手に届ける		
		13週	グラフや表を説明しよう		具体的な数値を示して、社会の動きを説明する 目的に応じてグラフや表をわかりやすく説明する		

		14週	グラフや表を説明しよう		具体的な数値を示して、社会の動きを説明する 目的に応じてグラフや表をわかりやすく説明する		
		15週	期末試験				
		16週	フィードバック				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	平常点（課題・授業参加度）		合計		
総合評価割合		50	50		100		
基礎的能力		50	50		100		
専門的能力		0	0		0		
分野横断的能力		0	0		0		